

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願ー

現在、東京女子医科大学東医療センター外科では、本学で保管している診療後の検体と診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題で利用する検体と診療情報等の利用については、研究対象者の方の同意が得られていませんが、本学倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の検体・診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 大腸癌肝転移巣における微小血管密度を基にした CT 造影効果の検討

[研究対象者]

2006年3月から2011年11月までの間に、東京女子医科大学東医療センター外科にて大腸がん肝転移と診断され、外科で診断・治療を受けられた方を対象とします。

[利用している残余検体・診療情報等の項目]

残余検体：切除肝

診療情報等：

①患者基本情報：年齢、性別

②疾患情報：疾患名、手術名、原発巣、治療内容、肝転移時期、肝転移個数、転移最大系、肝転移の程度、肝転移グレード

③画像検査所見：CT

④病理組織検査：組織型、深達度、リンパ管侵襲、静脈侵襲、リンパ節転移、微小血管密度、CD31 測定数

[利用の目的] (遺伝子解析研究：無)

CTの際血管内注入により病変をより確認しやすくするための造影剤の画像上の濃度が予後を推測する因子となるかについて解明することを目的としています。

[利用期間] 倫理委員会承認後より2020年12月までの間(予定)

[この研究での検体・診療情報等の取扱い]

本学倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした検体や診療情報等には**匿名化処理を行い**、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

[研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

研究責任者：東京女子医科大学 外科 教授 成高義彦

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 外科 矢野有紀

電話：03-3353-8111 (内線8965) (応対可能時間：平日9時～16時)

ファックス：03-3894-5493 Eメール：yuki-ysu@twmu.ac.jp